

岩見沢市総合計画策定のための
市民意識調査

結果報告書

平成 29 年 6 月
岩見沢市

目 次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査設計	1
(3) 調査項目	1
(4) 配布・回収状況	1
(5) 調査結果の見方	2
2. 調査結果	3
問 1 あなた（回答者）のことについてうかがいます。	3
問 2 あなたは、岩見沢市は暮らしやすいまちだと思いますか。	7
問 3 あなたの普段の生活や関心についてうかがいます。以下の項目について、あなたの考えに近いものを選んでください。	8
問 4 あなたの地域での活動についてうかがいます。	9
問 5 あなたが岩見沢市で暮らしていて、「優れている・便利である」、「見劣りする・不便である」と思うところを、それぞれ以下の項目から選び、下の口に番号を記入してください。	10
問 6 岩見沢市の市政・施策についてうかがいます。以下の項目の「現在の満足度」と「今後の重要度」について、あなたの考えに一番近いものを選んでください。	11
問 7 平成 18 年 3 月の 3 市町村合併後のまちづくりについてうかがいます。以下の項目について、あなたの考え方に近いものを選んでください。	15
問 8 雪対策についてうかがいます。	17
問 9 あなたは、これからも岩見沢市に住み続けたいと思いますか。	18
問 10 これからの岩見沢市のまちづくりを進めていくうえで、あなたが理想とする「将来のまちの姿」としてイメージに近いものはどれですか。	18
問 11 最後に、市政に対するご意見、ご提案等がございましたらご記入ください。	19
参考資料	20

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、新しい総合計画策定の基礎資料とするとともに、市民の生活意識や市政に対するニーズを幅広く把握し、市民の意見を計画に反映させ、まちづくりに活かすことを目的として実施しました。

(2) 調査設計

- ①調査対象：18歳以上の市民の中から無作為に抽出した10,000人
- ②調査基準日：平成28年10月1日
- ③調査期間：平成28年11月14日～平成28年11月30日
- ④調査方法：郵送による配布・回収

(3) 調査項目

- ①基本的属性
- ②岩見沢市の暮らしやすさについて
- ③普段の生活や関心について
- ④地域での活動への参加状況や意向について
- ⑤岩見沢市の優れている点・見劣りする点について
- ⑥市政・施策の満足度・重要度について
- ⑦市町村合併後のまちづくりについて
- ⑧雪対策について
- ⑨今後の定住意向について
- ⑩理想とする将来のまちの姿（イメージ）について

(4) 配布・回収状況

配布数	回収数	回収率
10,000票	3,266票	32.7%

(5) 調査結果の見方

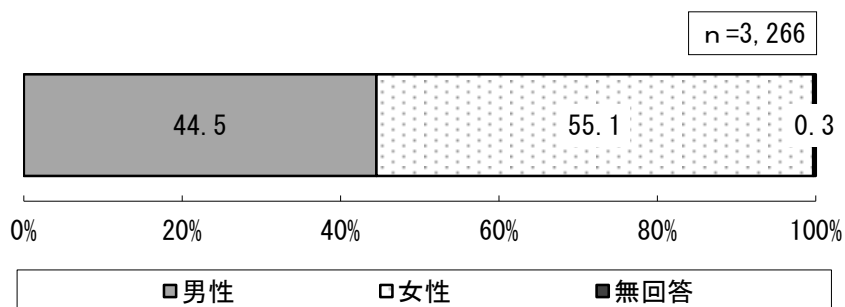
- ①「調査結果」の図表は、原則として、回答者の構成比（百分率%）で表しています。
- ②図表中の「n」は回答者総数を表しており、百分率%は「n」を100%として算出しています。
- ③百分率%は、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しているため、選択肢の割合の合計が100%にならない場合があります。
- ④複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- ⑤設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、「n」が回答者総数より少なくなる場合があります。

2. 調査結果

問1 あなた（回答者）のことにうかがいます。（それぞれ1つに○）

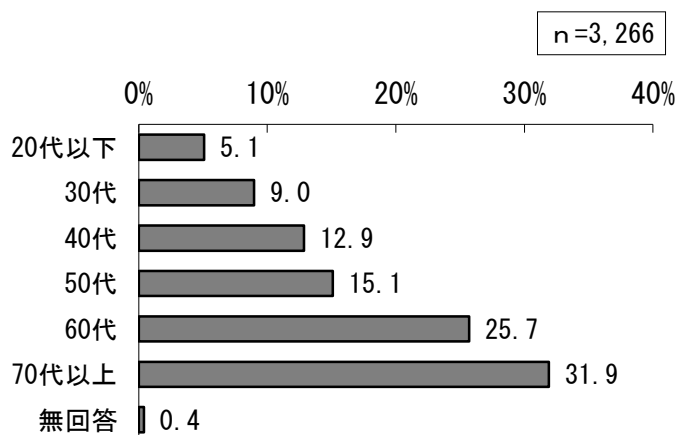
(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が44.5%、「女性」が55.1%で、女性の割合が高くなっています。



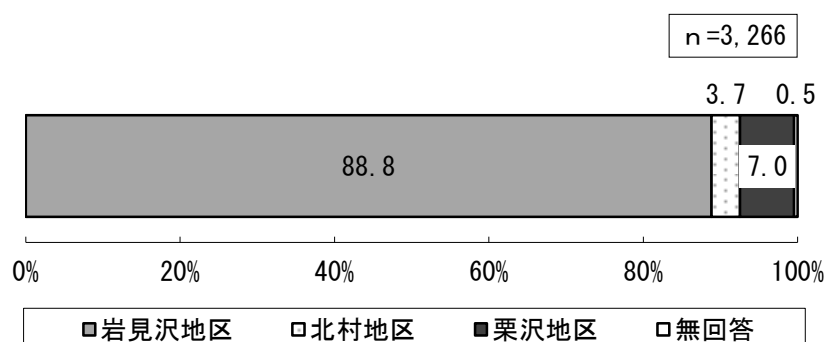
(2) 年齢

回答者の年齢は、「70代以上」が31.9%で最も高く、次いで「60代」(25.7%)、「50代」(15.1%)と続いており、60代以上の回答者が5割以上を占めています。



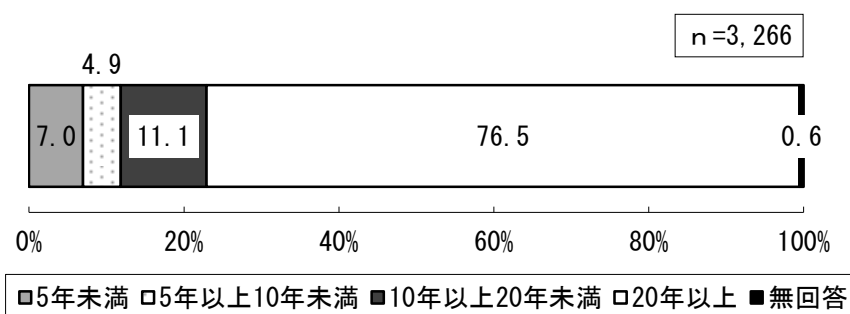
(3) お住まいの地区

回答者の居住地区は、岩見沢地区が88.8%で約9割を占めています。



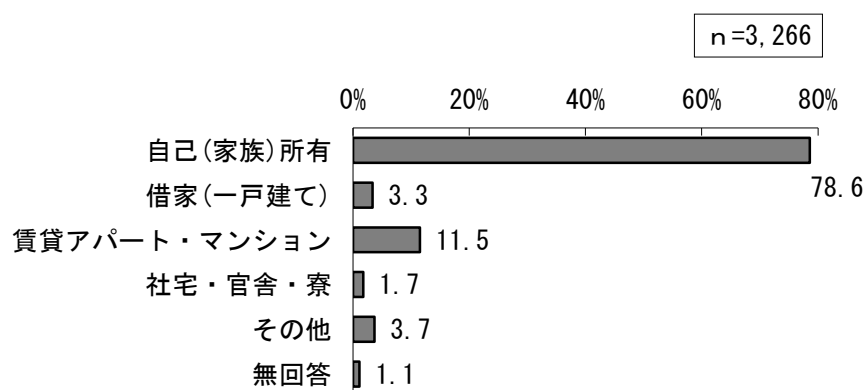
(4) 岩見沢市での居住歴 ※旧北村・栗沢町での居住歴を含む

回答者の岩見沢市での居住歴は、「20年以上」が76.5%で最も高くなっています。



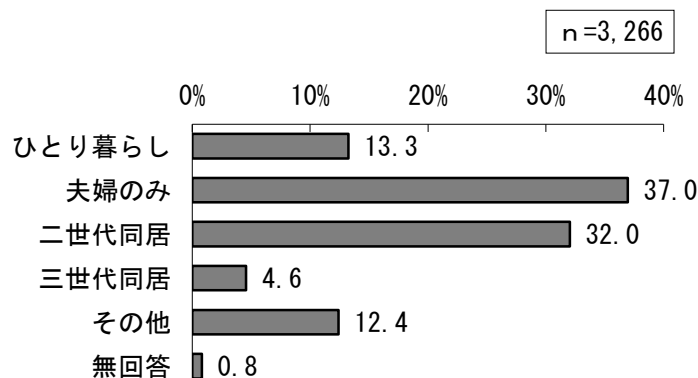
(5) 居住形態

回答者の居住形態は、「自己（家族）所有」が78.6%で、全体の約8割を占めています。



(6) 家族構成

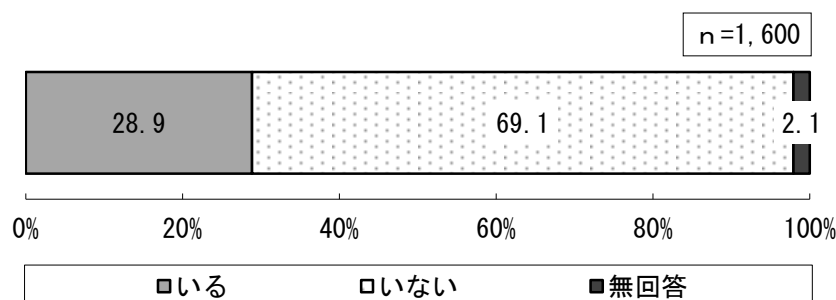
回答者の家族構成は、「夫婦のみ」が37.0%で最も高く、次いで「二世世代同居」(32.0%)、「ひとり暮らし」(13.3%)と続いています。



(7) 中学生以下の子ども

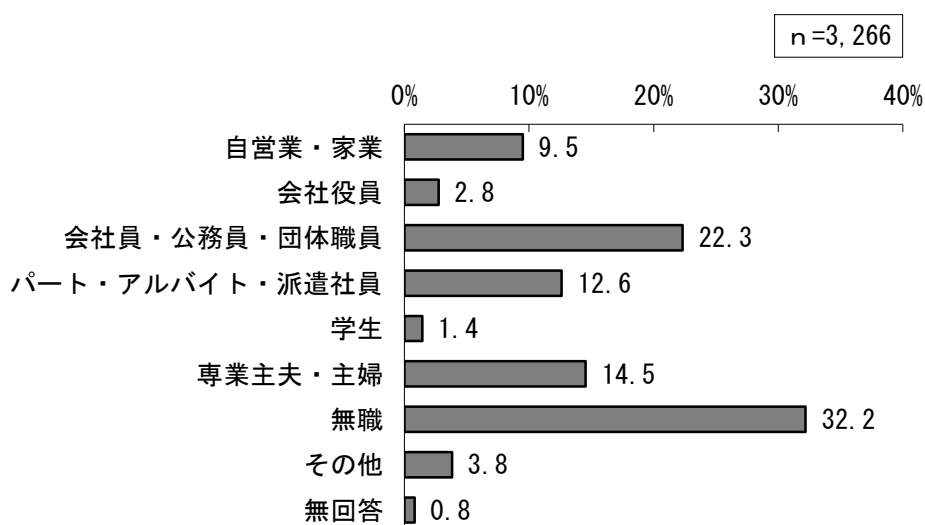
※ (6) で「二世世代同居」「三世世代同居」「その他」を選択した方

二世世代同居、三世世代同居等のうち、中学生以下の子どもが「いる」方の割合は、28.9%となっています。



(8) 職業

回答者の職業は、「無職」が32.2%で最も高く、次いで「会社員・公務員・団体職員」(22.3%)、「専業主夫・主婦」(14.5%)と続いています。

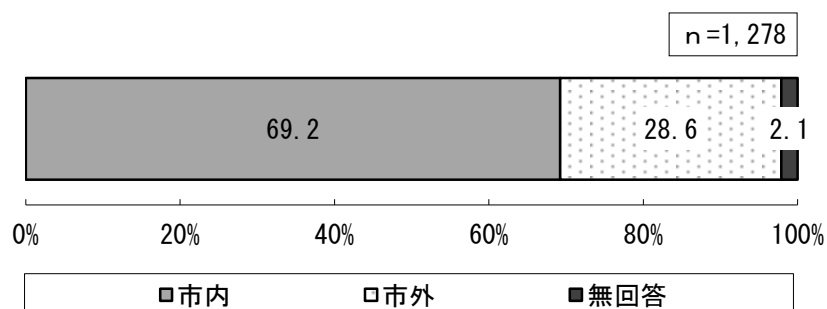


(9) 通勤・通学先

※(8)で「会社役員」「会社員・公務員・団体職員」「パート・アルバイト・派遣社員」「学生」を選択した方

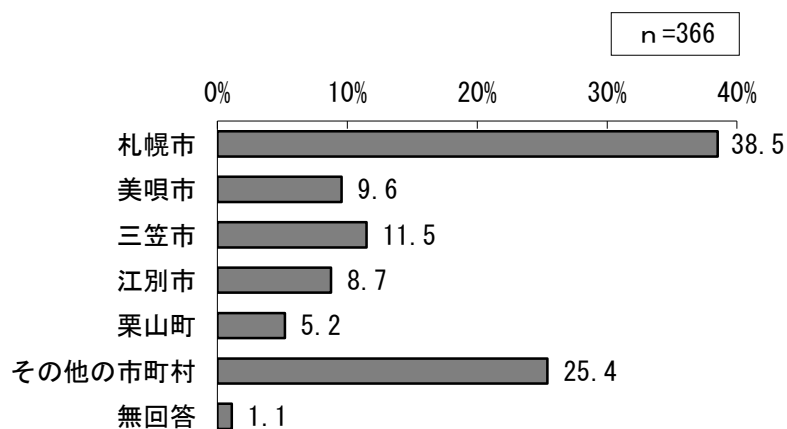
①市内・市外の別

回答者の通勤・通学先は、「市内」が69.2%、「市外」が28.6%となっています。



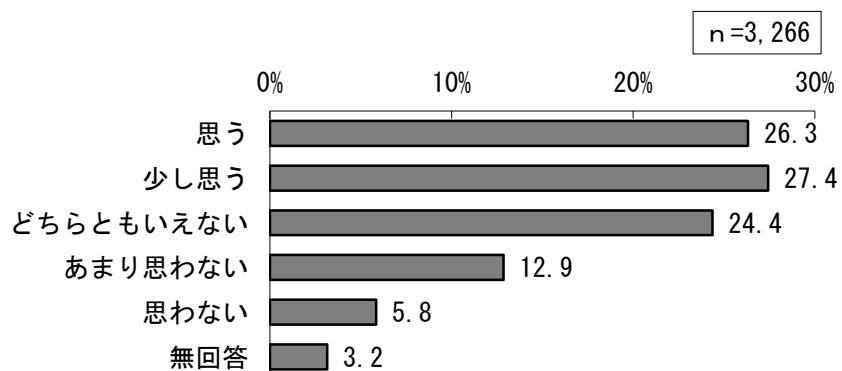
②市外の通勤・通学先

「市外」に通勤・通学している方の通勤・通学先は、「札幌市」が38.5%で最も高く、全体の約4割を占めています。



問2 あなたは、岩見沢市は暮らしやすいまちだと思いますか。（〇は1つ）

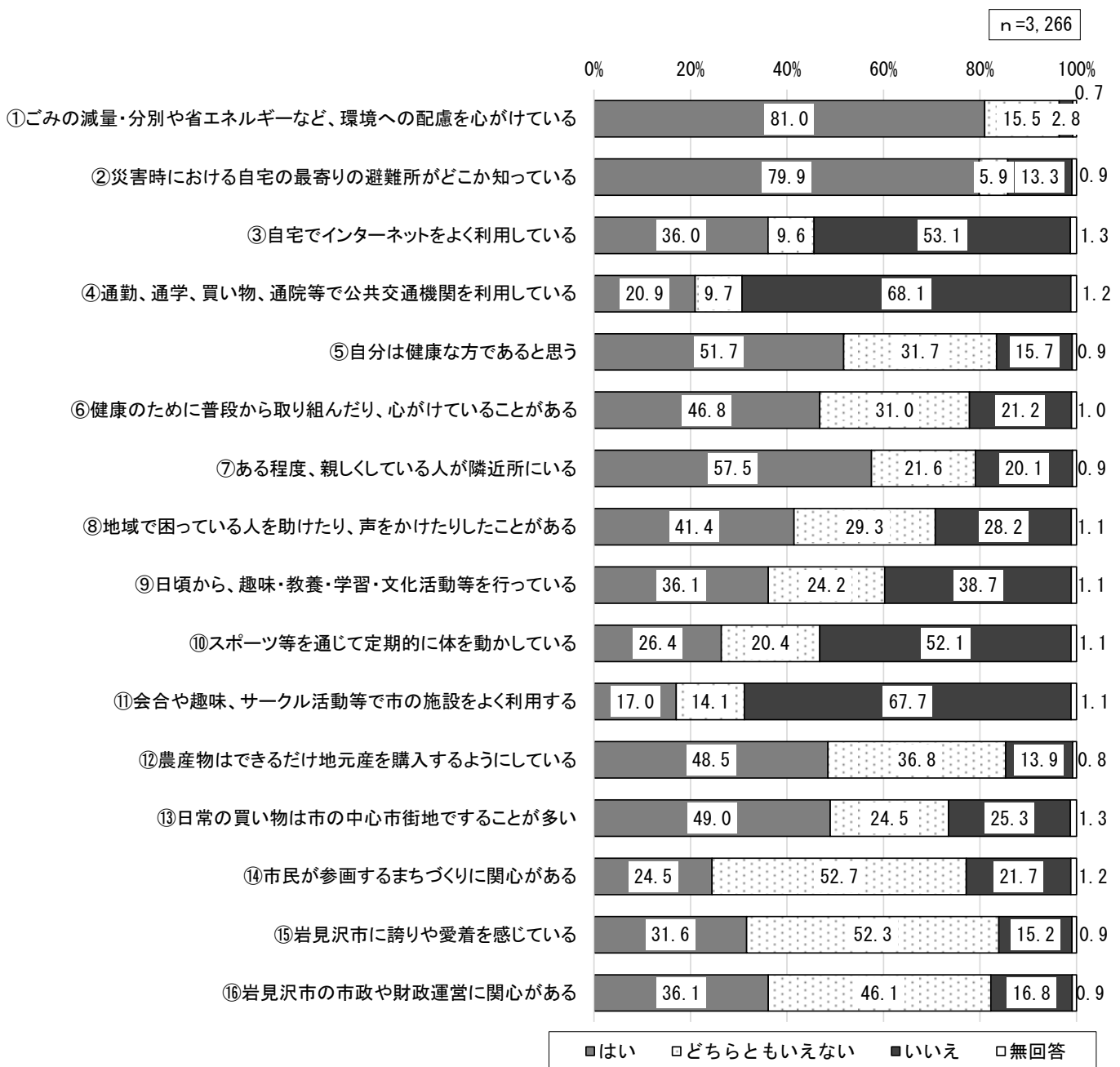
岩見沢市は暮らしやすいまちだと思うかどうかについて、「少し思う」が27.4%で最も高く、「思う」（26.3%）と合わせると、5割以上の方が『思う』と回答しています。



問3 あなたの普段の生活や関心についてうかがいます。以下の項目について、あなたの考えに近いものを選んでください。（それぞれ1つに○）

普段の生活や関心について、「はい」の割合が高い項目は、「ごみの減量・分別や省エネルギーなど、環境への配慮を心がけている」（81.0%）、「災害時における自宅の最寄りの避難所がどこか知っている」（79.9%）等となっています。

一方、「いいえ」の割合が高い項目は、「通勤、通学、買い物、通院等で公共交通機関を利用している」（68.1%）、「会合や趣味、サークル活動等で市の施設をよく利用する」（67.7%）等となっています。

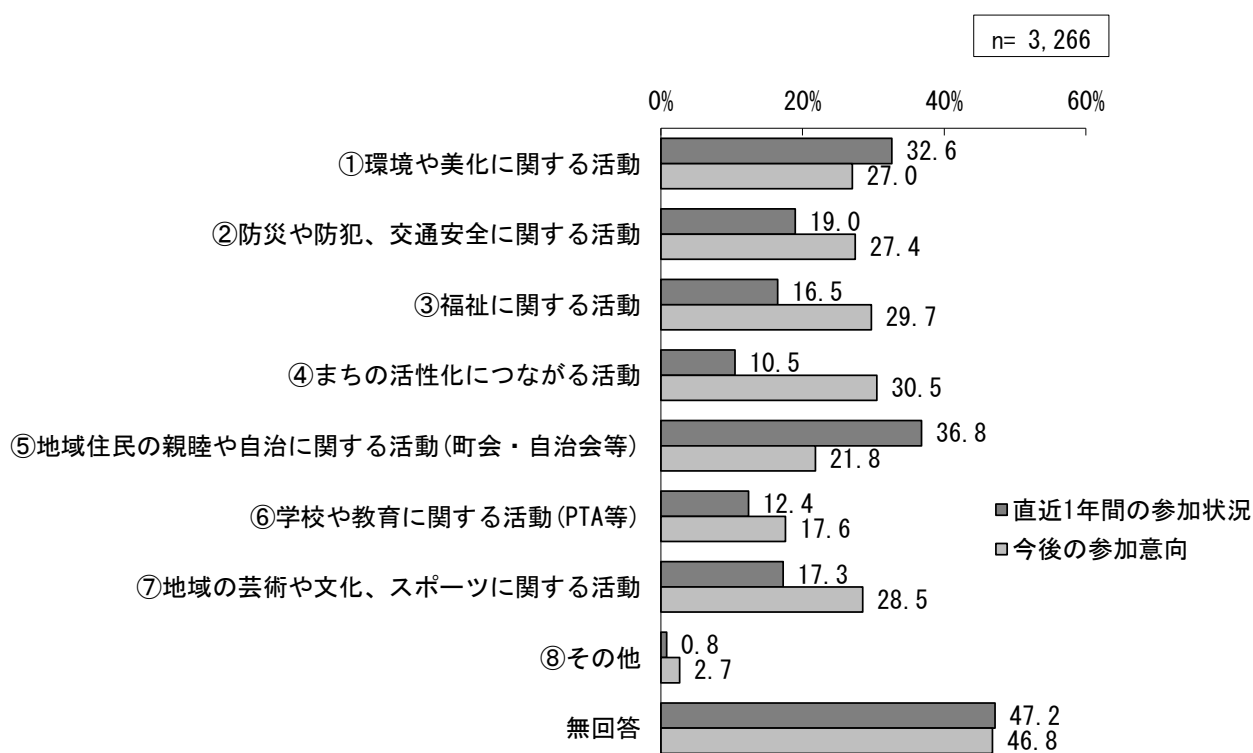


問4 あなたの地域での活動についてうかがいます。（あてはまるものすべてに○）

- (1)この1年間に以下の地域活動やまちづくりの取組に参加したことがありますか。
 (2) 今後（も）、これらに参加したいと思いますか。

参加状況が高い活動は、「地域住民の親睦や自治に関する活動（町会・自治会等）」（36.8%）、「環境や美化に関する活動」（32.6%）等となっています。

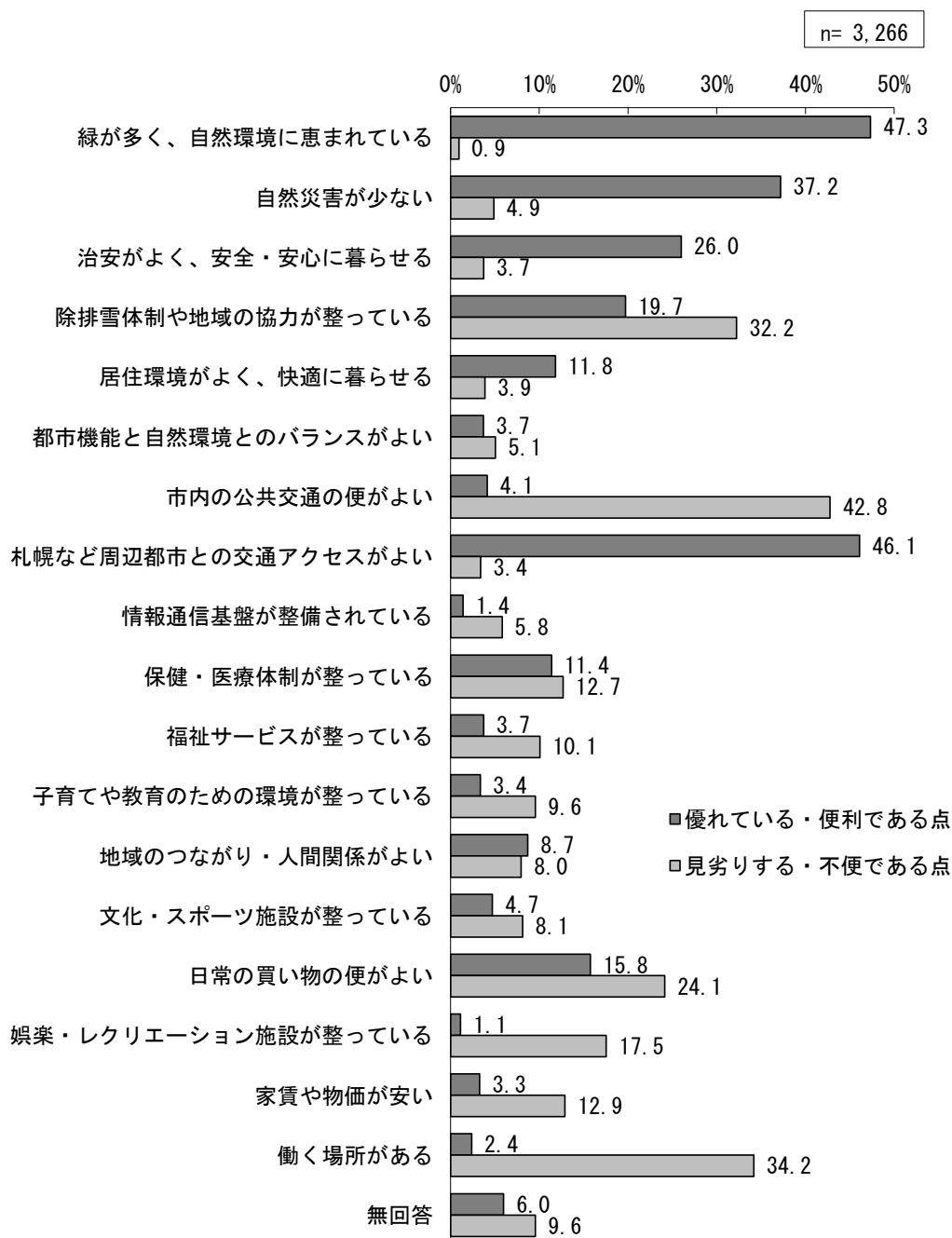
参加意向が高い活動は、「まちの活性化につながる活動」（30.5%）、「福祉に関する活動」（29.7%）等となっています。どちらも参加状況が低く、参加状況と参加意向に大きな差がみられます。



問5 あなたが岩見沢市で暮らしていて、「優れている・便利である」、「見劣りする・不便である」と思うところを、それぞれ以下の項目から選び、下の口に番号を記入してください。（それぞれ3つまで）

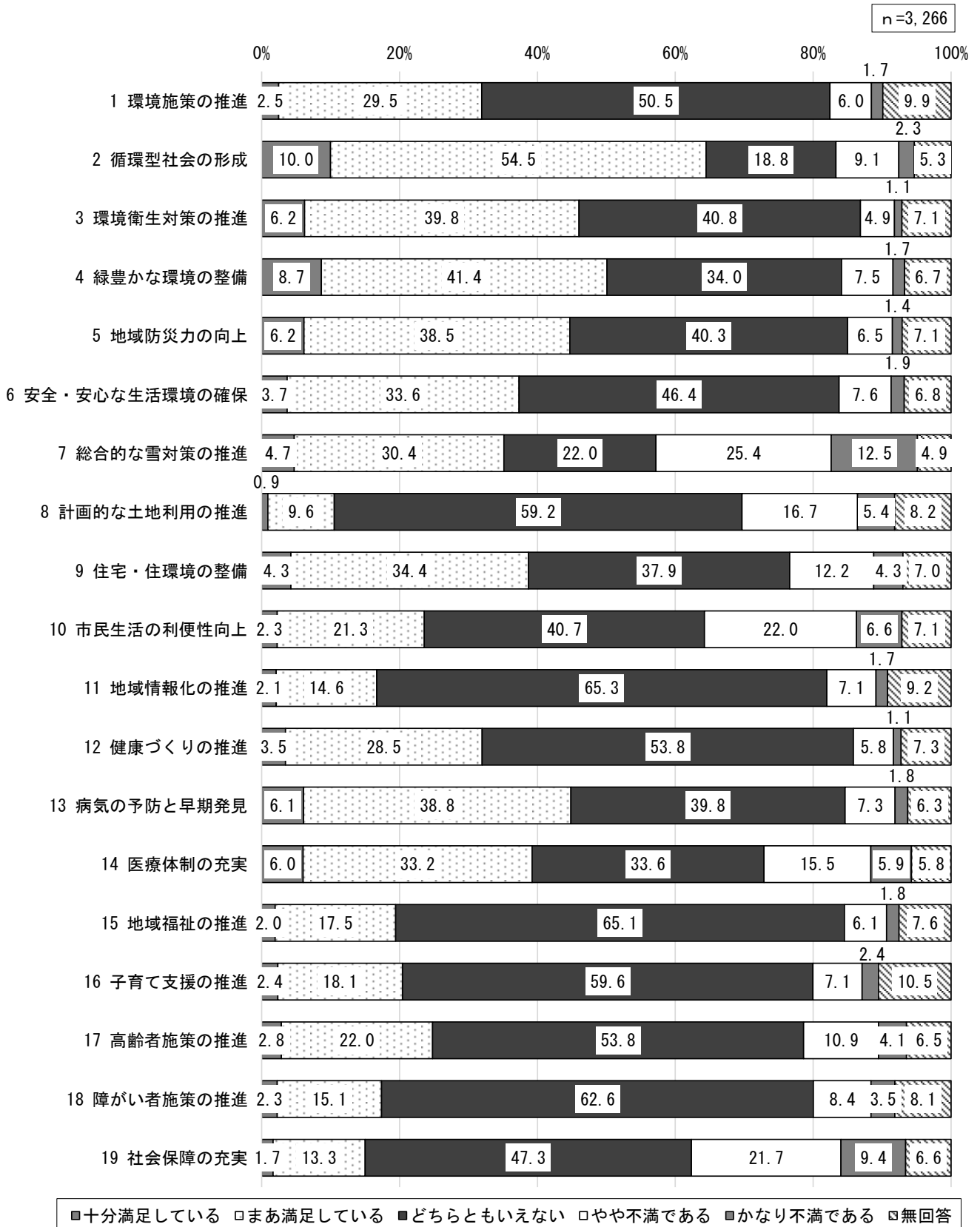
岩見沢市の優れている点、便利である点について、「緑が多く、自然環境に恵まれている」が47.3%で最も高く、次いで「札幌など周辺都市との交通アクセスがよい」（46.1%）、「自然災害が少ない」（37.2%）と続いています。

岩見沢市の見劣りする点、不便である点について、「市内の公共交通の便」が42.8%で最も高く、次いで「働く場所」（34.2%）、「除排雪体制や地域の協力」（32.2%）と続いています。



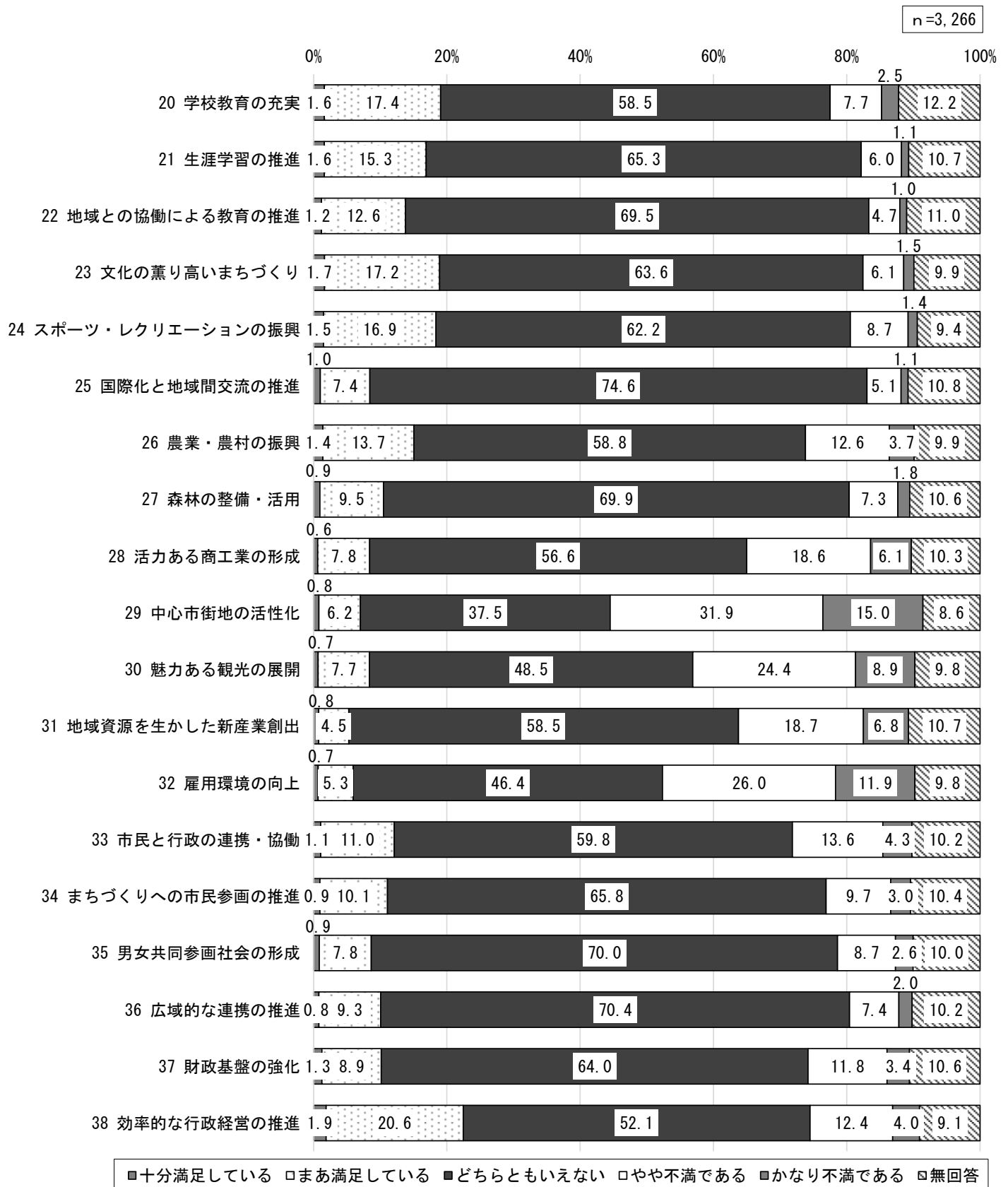
問6 岩見沢市の市政・施策についてうかがいます。以下の項目の「現在の満足度」と「今後の重要度」について、あなたの考えに一番近いものを選んでください。（1から38について、（1）、（2）それぞれ1つに○）

(1) 満足度

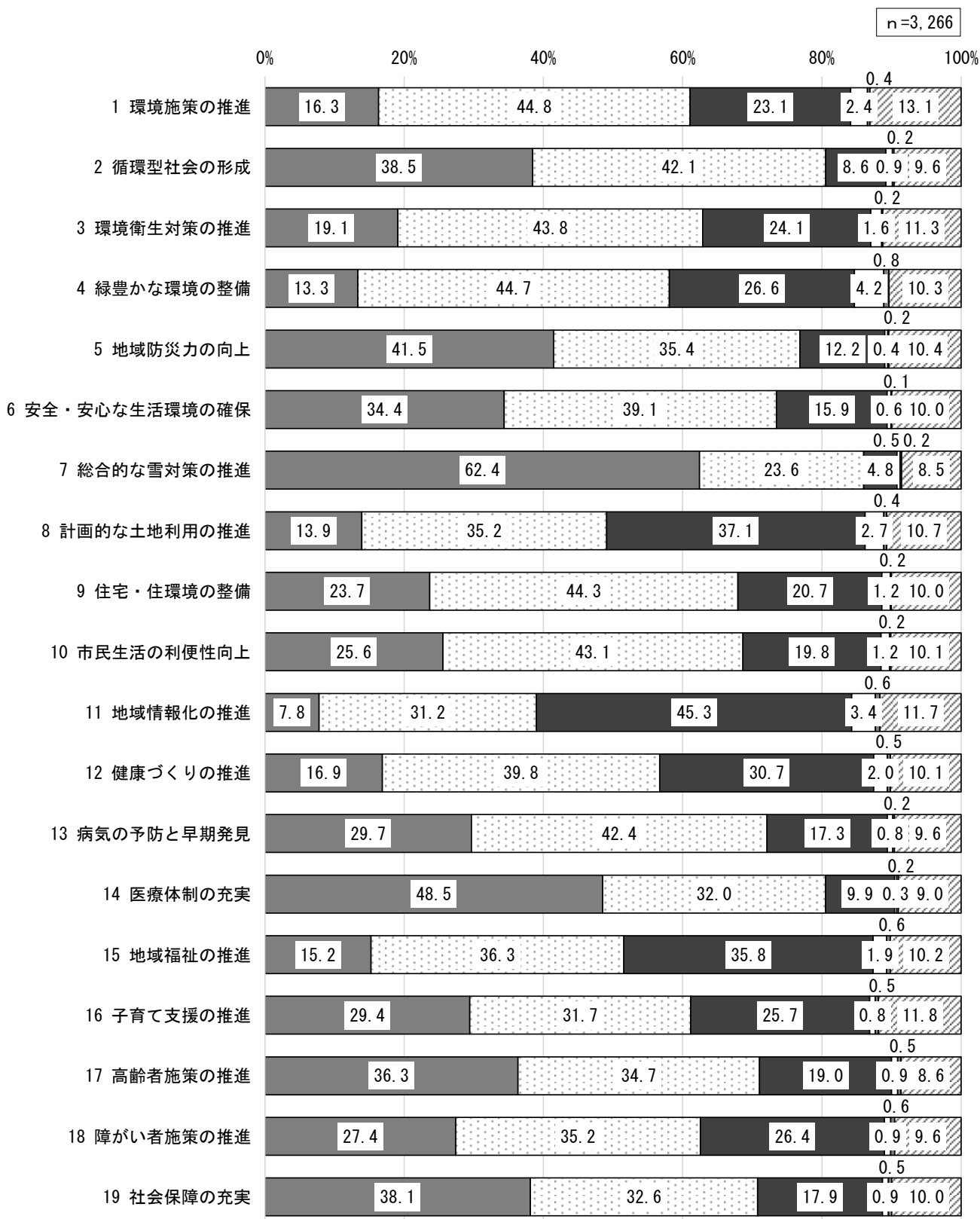


満足度が高い項目について、「循環型社会の形成」の満足度が最も高く、「十分満足している」と「まあ満足している」を合わせると64.5%となっています。

不満度が高い項目について、「中心市街地の活性化」では、「かなり不満である」と「やや不満である」を合わせると46.9%となっています。

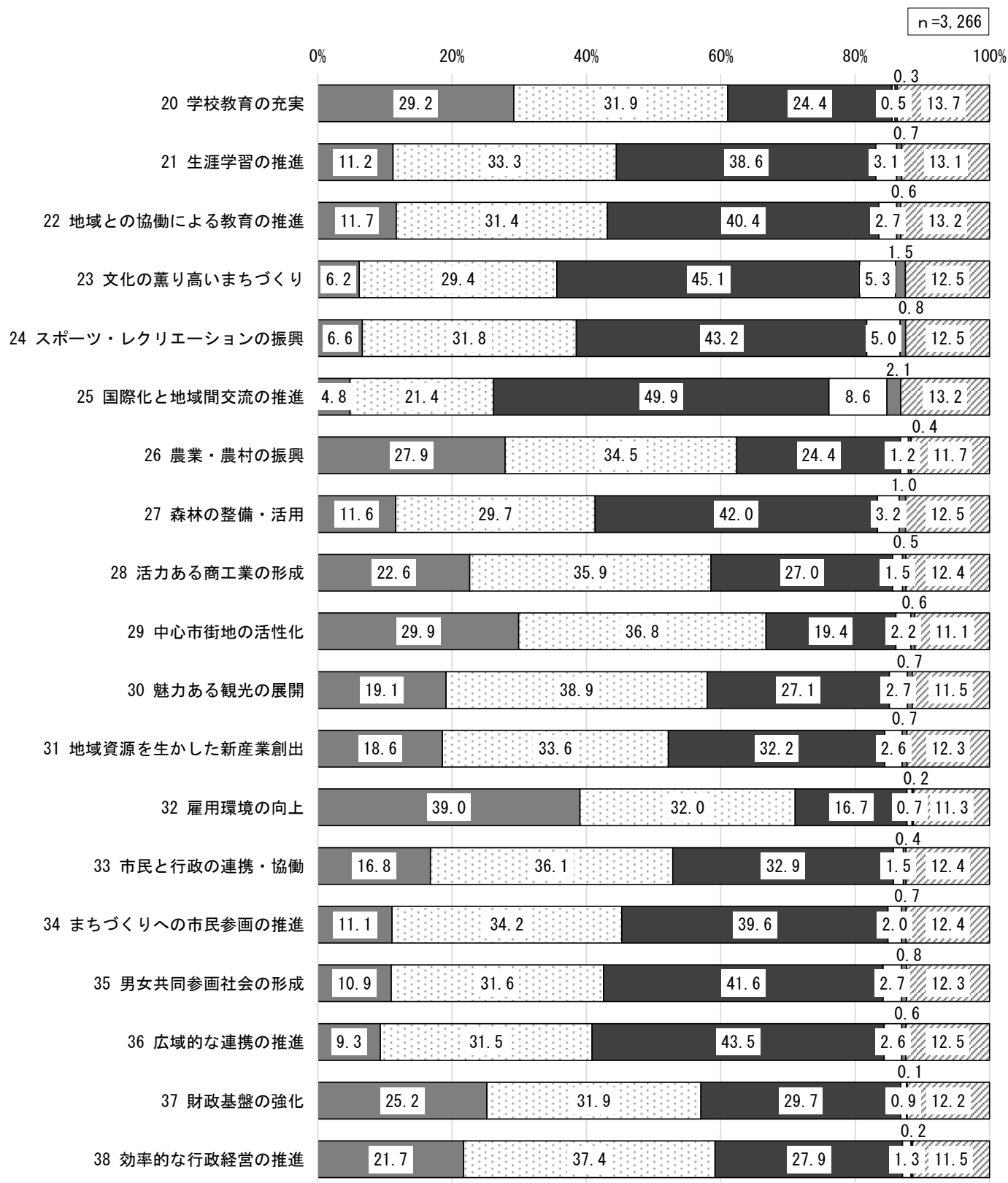


(2) 重要度



大変重要である
 まあ重要である
 どちらともいえない
 あまり重要ではない
 全く重要ではない
 無回答

重要度が高い項目について、「総合的な雪対策の推進」では、6割以上の方が「大変重要である」と回答し、「まあ重要である」を合わせると86.0%に上っています。

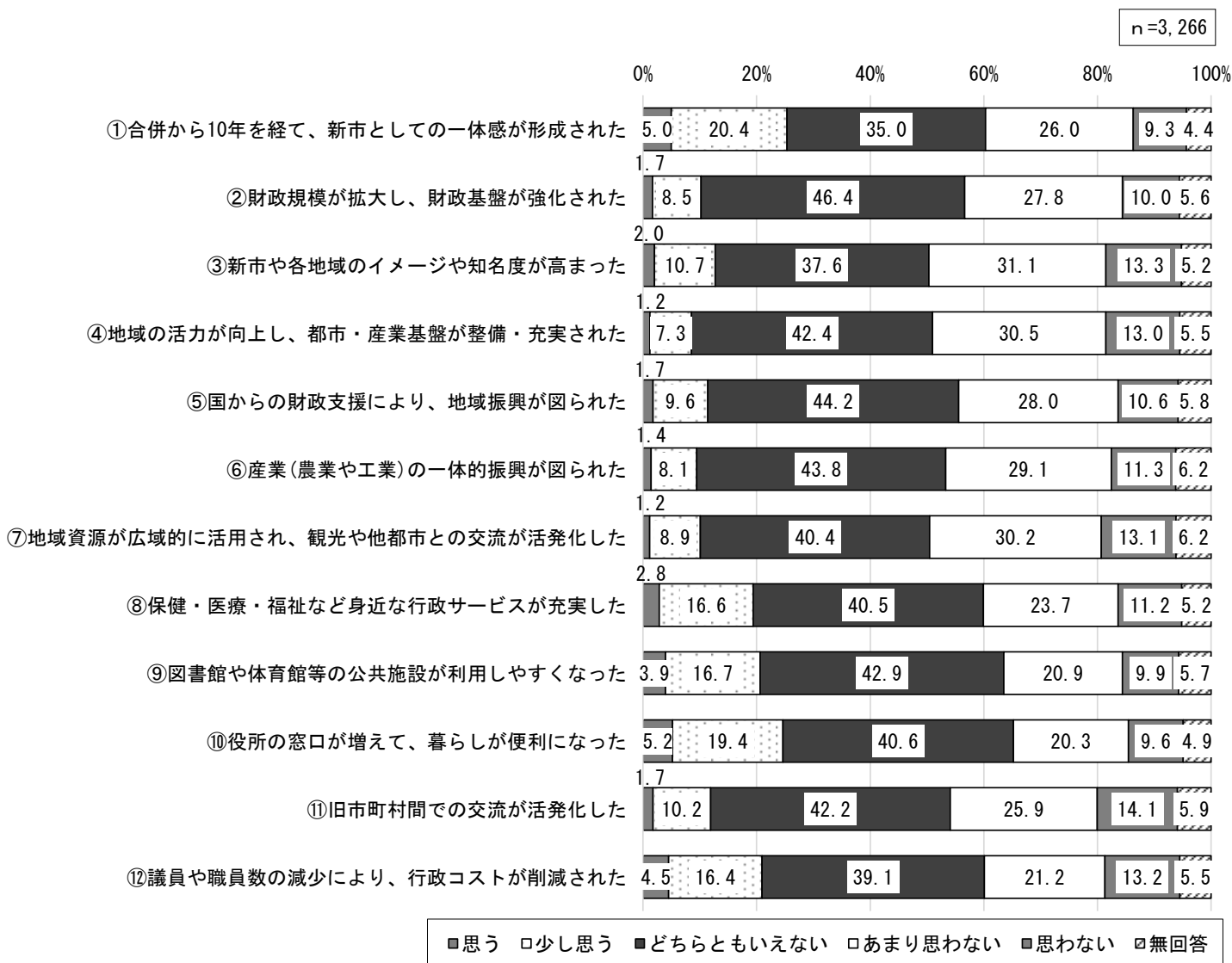


大変重要である
 まあ重要である
 どちらともいえない
 あまり重要ではない
 全く重要ではない
 無回答

問7 平成18年3月の3市町村合併後のまちづくりについてうかがいます。以下の項目について、あなたの考え方に近いものを選んでください。
(それぞれ1つに〇)

「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』の割合が高い項目は、「合併から10年を経て、新市としての一体感が形成された」(25.4%)、「役所の窓口が増えて、暮らしが便利になった」(24.6%)、「議員や職員数の減少により、行政コストが削減された」(20.9%)等となっています。

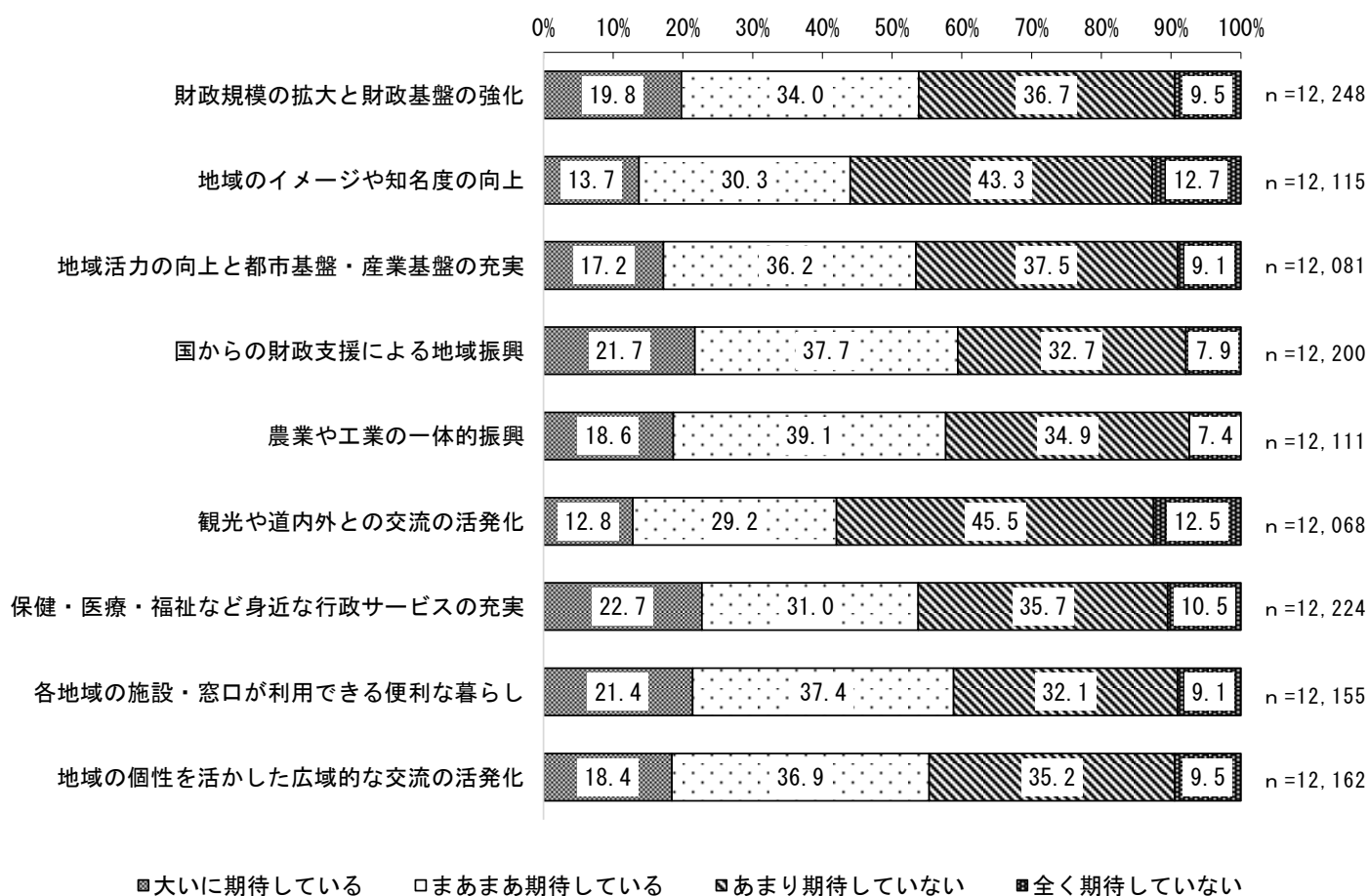
一方、「思わない」と「あまり思わない」を合わせた『思わない』の割合が高い項目は、「新市や各地域のイメージや知名度が高まった」(44.4%)、「地域の活力が向上し、都市・産業基盤が整備・充実された」(43.5%)、「地域資源が広域的に活用され、観光や他都市との交流が活発化した」(43.3%)等となっています。



なお、合併前に実施した「新しいまちづくりに関する住民アンケート調査」で
うかがった、新市に期待する効果の回答割合は以下のとおりです。

合併前に期待が高かった「国からの財政支援による地域振興」、「各地域の施設・窓口が利用できる便利な暮らし」、「農業や工業の一体的振興」のうち、「各地域の施設・窓口が利用できる便利な暮らし」では、合併後の評価として、比較的『思う』の割合が高くなっていますが、「国からの財政支援による地域振興」、「農業や工業の一体的振興」では、『思う』の割合が低くなっており、期待と評価の差が大きくなっています。

(参考) 合併して新市となった場合に期待する効果



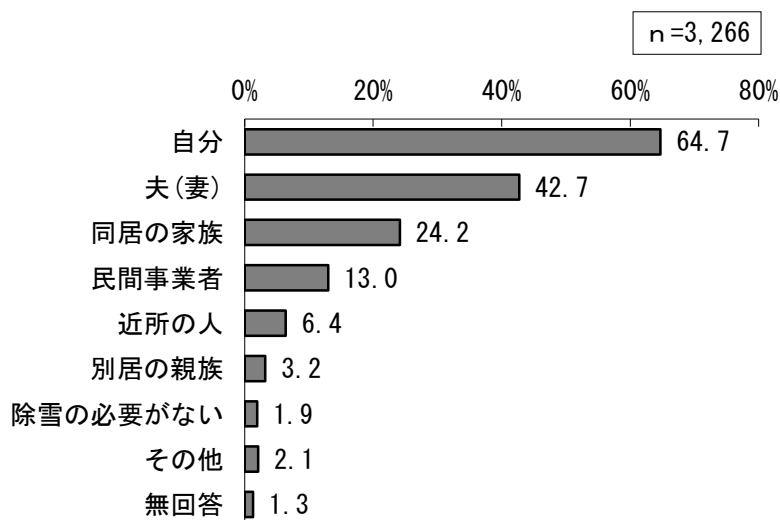
出典：空知中央地域合併協議会「新しいまちづくりに関する住民アンケート調査結果報告書（平成16年11月）」

問8 雪対策についてうかがいます。

(1) あなたのご自宅では、主にどなたが除雪作業を担っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

自宅での除雪作業の担い手について、「自分」が64.7%で最も高く、次いで「夫(妻)」(42.7%)、「同居の家族」(24.2%)と続いています。

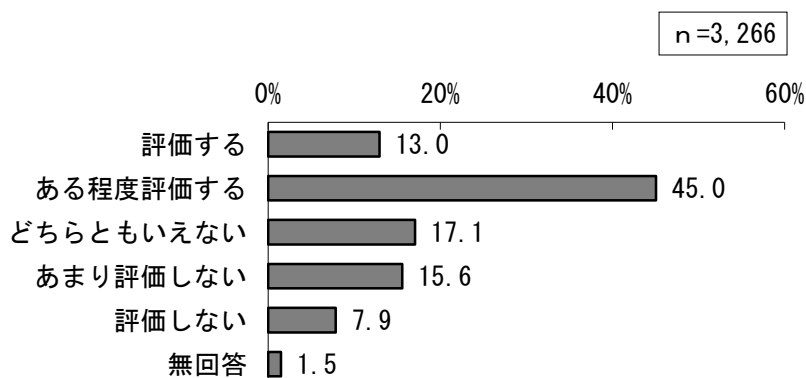


(2) 岩見沢市では、平成24年の豪雪の教訓から、「迅速・的確な除排雪対応」「情報提供の充実」「高齢者等の除雪弱者への支援」といった『総合的な雪対策』に取り組んでいます。

あなたは、岩見沢市の『総合的な雪対策』をどのように評価しますか。

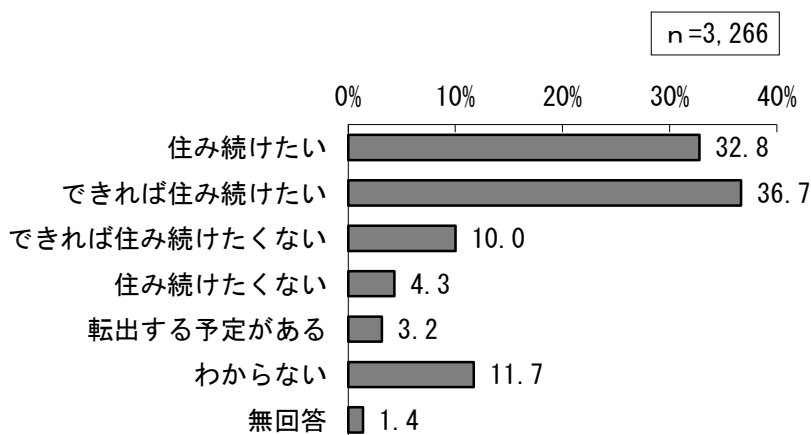
(○は1つ)

『総合的な雪対策』に対する評価について、「ある程度評価する」が45.0%で最も高く、「評価する」(13.0%)と合わせると、6割近くの方が『評価する』と回答しています。



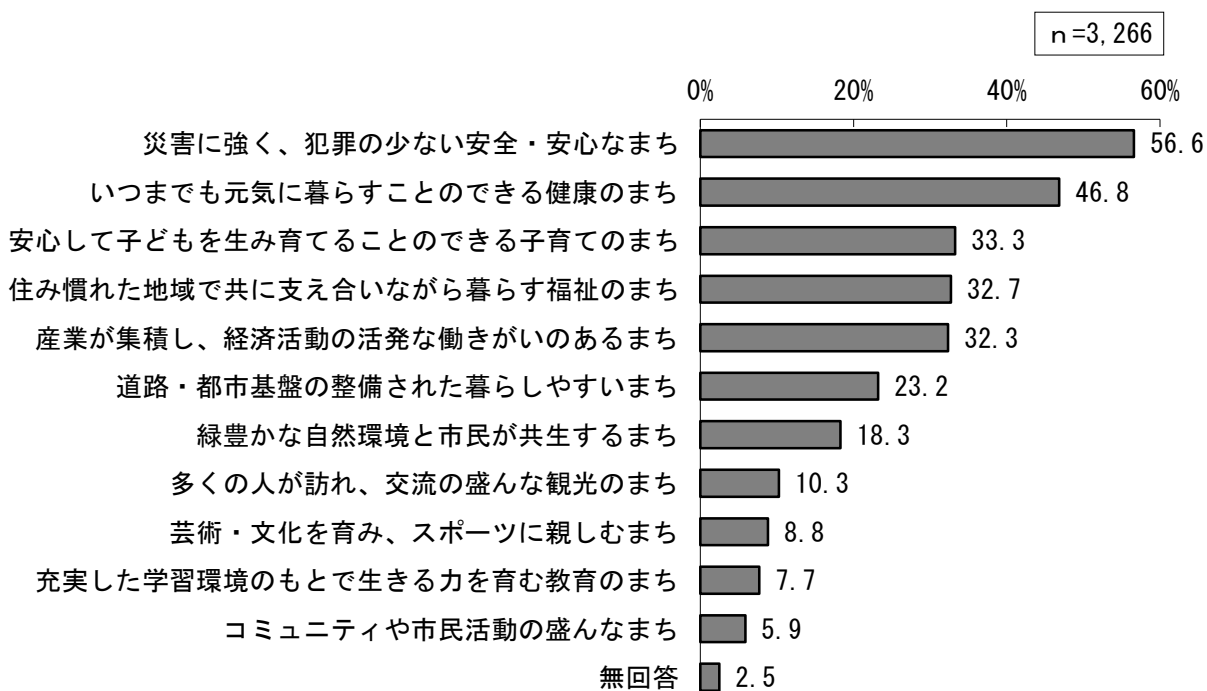
問9 あなたは、これからも岩見沢市に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

岩見沢市での定住意向について、「できれば住み続けたい」が36.7%で最も高く、「住み続けたい」（32.8%）と合わせると、約7割の方が『住み続けたい』と回答しています。



問10 これからの岩見沢市のまちづくりを進めていくうえで、あなたが理想とする「将来のまちの姿」としてイメージに近いものはどれですか。（○は3つまで）

理想とする「将来のまちの姿」のイメージについて、「災害に強く、犯罪の少ない安全・安心なまち」が56.6%で最も高く、次いで「いつまでも元気に暮らすことのできる健康のまち」（46.8%）、「安心して子どもを産み育てることのできる子育てのまち」（33.3%）と続いています。



問11 最後に、市政に対するご意見、ご提案等がございましたらご記入ください。

市政に対するご意見、ご提案等について、回答者全体の31.1%にあたる1,015人の方からご回答をいただきました。

ご意見等の内容を分野別に分類すると、「雪対策」に関するご意見等が261件で最も多く、次いで「産業経済・交流」が204件、「行財政運営」が173件、「環境保全・都市基盤整備」が169件と続いています。

分野	件数	意見内容
雪対策	261件	除雪体制の充実、除排雪設備の整備、歩道の除雪、住宅地での除雪等
産業経済・交流	204件	中心市街地・商店街の活性化、駅前整備の推進、農業振興、観光資源の活用・PR、道の駅の設置、働く場の創出、企業誘致等
行財政運営	173件	税・公共施設等の有効活用、庁舎建替え、市職員の資質向上、窓口対応、市民意見の市政への反映、わかりやすい広報・情報発信等
環境保全・都市基盤整備	169件	自然環境・公園の有効活用、ごみの分別・収集、安全快適な道路整備、空き家対策等
健康・福祉・医療	140件	高齢者施策の充実、障がい者福祉の充実、生活保護制度の適正な運用、市立病院の充実、救急医療体制の充実等
子ども・教育・文化	102件	子育て支援の充実、経済的負担の軽減、仕事と子育ての両立支援、図書館の利便性向上、スポーツ施設の有効活用等
公共交通	90件	バス交通の充実・利便性向上、交通弱者の移動手段の確保、冬期間の交通対策等
定住・移住、人口減少	68件	若者の働く場の創出、魅力ある住環境の整備、学校卒業後の定住対策、子育て支援の充実等
防災・防犯・交通安全・地域コミュニティ	59件	高齢者ドライバー対策、街灯の設置、町内会活動、防犯活動の活性化等
市町村合併	20件	均衡ある発展・活性化、支所機能の強化等
市民意識調査・その他	109件	調査結果の活用・反映、今後の市政への期待・激励等

參考資料

岩見沢市総合計画策定のための 市民意識調査 ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃から市政に対し格別のご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、岩見沢市では、「新岩見沢市総合計画（平成 20 年度～平成 29 年度）」の満了を控え、現在、新たな総合計画の策定を進めています。

総合計画は、市の将来像やまちづくりの方向性を示した最上位計画であり、多くの市民の皆さまのご意見を計画に反映させ、まちづくりに活かしていくため、アンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をいただきますようお願い申し上げます。

平成 28 年 11 月

岩見沢市長 松野 哲

[記入上の注意]

1. 宛名のご本人がお答えください。（ご本人による記入が難しいときは、身近な方がご本人の意向に沿って代理で記入していただいても結構です。）
2. 回答者のお名前を記入する必要はありません。
3. ご回答は、設問ごとに（○は1つ）（○は3つまで）などと指定されています。選択肢の番号を○で囲んでください。（濃く記入してください。）
また、問5につきましては、□の中に選択肢の番号を記入してください。
4. ご記入いただいた調査票を返信用封筒（切手不要）に入れて、11月30日（水）までに投函してください。

※ この調査は、18歳以上の市民の中から無作為に抽出した10,000人の方を対象に送付しています。皆さまのご回答はすべて統計的に処理され、個人が特定されたり、本調査の目的以外で使用することはありません。

この調査のお問い合わせ先

岩見沢市 企画財政部 企画室（総合計画担当）

〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

TEL:0126-23-4111(内424) FAX:0126-23-9977

問1 あなた（回答者）のことについてうかがいます。（それぞれ1つに○）

(1) 性別	1. 男性	2. 女性
(2) 年齢	1. 20代以下 3. 40代 5. 60代	2. 30代 4. 50代 6. 70代以上
(3) お住まいの地区	1. 岩見沢地区 3. 栗沢地区	2. 北村地区
(4) 岩見沢市での居住歴 ※旧北村・栗沢町での居住歴を含む	1. 5年未満 3. 10年以上20年未満	2. 5年以上10年未満 4. 20年以上
(5) 居住形態	1. 自己（家族）所有 3. 賃貸アパート・マンション 5. その他	2. 借家（一戸建て） 4. 社宅・官舎・寮
(6) 家族構成	1. ひとり暮らし 3. 二世帯同居 5. その他	2. 夫婦のみ 4. 三世帯同居
(7) 中学生以下の子ども ※（6）で3～5を選択した方	1. いる	2. いない
(8) 職業	1. 自営業・家業 3. 会社員・公務員・団体職員 5. 学生 7. 無職	2. 会社役員 4. パート・アルバイト・派遣社員 6. 専業主夫・主婦 8. その他
(9) 通勤・通学先 ※（8）で2～5を選択した方	1. 市内 2. 市外 →該当する市町村に○をつけてください。 (ア 札幌市 イ 美唄市 ウ 三笠市 エ 江別市 オ 栗山町 カ その他の市町村)	

問2 あなたは、岩見沢市は暮らしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

1. 思う	2. 少し思う	3. どちらともいえない
4. あまり思わない	5. 思わない	

問3 あなたの普段の生活や関心についてうかがいます。以下の項目について、あなたの考えに近いものを選んでください。
(それぞれ1つに○)

	はい	どちらとも いえない	いいえ
① ごみの減量・分別や省エネルギーなど、環境への配慮を心がけている	1	2	3
② 災害時における自宅の最寄りの避難所がどこか知っている	1	2	3
③ 自宅でインターネットをよく利用している	1	2	3
④ 通勤、通学、買い物、通院等で公共交通機関を利用している	1	2	3
⑤ 自分は健康な方であると思う	1	2	3
⑥ 健康のために普段から取り組んだり、心がけていることがある	1	2	3
⑦ ある程度、親しくしている人が隣近所にいる	1	2	3
⑧ 地域で困っている人を助けたり、声をかけたりしたことがある	1	2	3
⑨ 日頃から、趣味・教養・学習・文化活動等を行っている	1	2	3
⑩ スポーツ等を通じて定期的に体を動かしている	1	2	3
⑪ 会合や趣味、サークル活動等で市の施設をよく利用する	1	2	3
⑫ 農産物はできるだけ地元産を購入するようにしている	1	2	3
⑬ 日常の買い物は市の中心市街地ですることが多い	1	2	3
⑭ 市民が参画するまちづくりに関心がある	1	2	3
⑮ 岩見沢市に誇りや愛着を感じている	1	2	3
⑯ 岩見沢市の市政や財政運営に関心がある	1	2	3

問4 あなたの地域での活動についてうかがいます。

(1) この1年間に以下の地域活動やまちづくりの取組に参加したことがありますか。

(2) 今後(も)、これらに参加したいと思いますか。

(それぞれについて、(1) 最近、(2) 今後のあてはまるものすべてに○)

	(1) 最近	(2) 今後
記入例⇒	ある	したい
① 環境や美化に関する活動	ある	したい
② 防災や防犯、交通安全に関する活動	ある	したい
③ 福祉に関する活動	ある	したい
④ まちの活性化につながる活動	ある	したい
⑤ 地域住民の親睦や自治に関する活動(町会・自治会等)	ある	したい
⑥ 学校や教育に関する活動(PTA等)	ある	したい
⑦ 地域の芸術や文化、スポーツに関する活動	ある	したい
⑧ その他()	ある	したい

問5 あなたが岩見沢市で暮らしていて、「優れている・便利である」、「見劣りする・不便である」と思ふところを、それぞれ以下の項目から選び、下の口に番号を記入してください。

1. 緑が多く、自然環境に恵まれている	2. 自然災害が少ない
3. 治安がよく、安全・安心に暮らせる	4. 除排雪体制や地域の協力が整っている
5. 居住環境がよく、快適に暮らせる	6. 都市機能と自然環境とのバランスがよい
7. 市内の公共交通の便がよい	8. 札幌など周辺都市との交通アクセスがよい
9. 情報通信基盤が整備されている	10. 保健・医療体制が整っている
11. 福祉サービスが整っている	12. 子育てや教育のための環境が整っている
13. 地域のつながり・人間関係がよい	14. 文化・スポーツ施設が整っている
15. 日常の買い物の便がよい	16. 娯楽・レクリエーション施設が整っている
17. 家賃や物価が安い	18. 働く場所がある

優れている・便利である点

3つまで→

--	--	--

見劣りする・不便である点

3つまで→

--	--	--

問6 岩見沢市の市政・施策についてうかがいます。以下の項目の「現在の満足度」と「今後の重要度」について、あなたの考えに一番近いものを選んでください。

(1から38について、(1)、(2) それぞれ1つに○)

	(1) 満足度 (○は1つ)					(2) 重要度 (○は1つ)						
	十分満足している	まあ満足している	いえない	どちらとも	あるやや不満	かなり不満である	大変重要である	まあ重要である	いえない	どちらとも	あまり重要ではない	全く重要ではない
記入例⇒	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
1 環境施策の推進 (地球環境保全、自然との共生)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
2 循環型社会の形成 (ごみの分別・減量・リサイクル)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
3 環境衛生対策の推進 (公害防止、し尿処理、霊園墓地)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
4 緑豊かな環境の整備 (公園・緑地整備、緑のネットワーク)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
5 地域防災力の向上 (防災対策、消防・救急体制)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
6 安全・安心な生活環境の確保 (防犯活動、交通安全、消費生活相談)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
7 総合的な雪対策の推進 (除排雪体制の充実、地域除排雪支援)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
8 計画的な土地利用の推進 (調和のとれた土地利用や市街地形成)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
9 住宅・住環境の整備 (生活道路、市営住宅、上下水道)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
10 市民生活の利便性向上 (公共交通、幹線道路、公共サイン)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
11 地域情報化の推進 (情報通信技術・基盤の利活用)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
12 健康づくりの推進 (健康教育・相談、自主的な健康づくり)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
13 病気の予防と早期発見 (各種検診・予防接種、訪問指導)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
14 医療体制の充実 (市立総合病院、地域医療、救急医療)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
15 地域福祉の推進 (共に支え合う社会、ボランティア活動)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
16 子育て支援の推進 (母子保健、保育、相談、児童健全育成)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
17 高齢者施策の推進 (介護サービス、高齢者福祉、社会参加)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
18 障がい者施策の推進 (支援サービス、療育体制、社会参加)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		

	(1) 満足度 (○は1つ)					(2) 重要度 (○は1つ)					
	十分満足している	まあ満足している	いえない	どちらとも	ある	やや不満である	かなり不満である	大変重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない
19 社会保障の充実 (低所得者福祉、保険・年金制度)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
20 学校教育の充実 (教育環境の充実と質の向上)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
21 生涯学習の推進 (学習機会・情報の提供、施設の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
22 地域との協働による教育の推進 (学校開放、青少年の健全育成)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
23 文化の薫り高いまちづくり (芸術文化活動の振興、施設の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
24 スポーツ・レクリエーションの振興 (活動機会や施設の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
25 国際化と地域間交流の推進 (国際交流の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
26 農業・農村の振興 (基盤整備、担い手育成、地産地消)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
27 森林の整備・活用 (森林の整備・保全、多目的な活用)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
28 活力ある商工業の形成 (商工業の育成・支援、企業誘致の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
29 中心市街地の活性化 (にぎわいの創出、都市拠点機能の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
30 魅力ある観光の展開 (観光資源の整備・活用、情報発信)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
31 地域資源を生かした新産業創出 (新たな産業の育成、IT企業の立地)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
32 雇用環境の向上 (就業機会の確保、勤労者の生活安定)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
33 市民と行政の連携・協働 (まちづくり・地域活動の活発化)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
34 まちづくりへの市民参画の推進 (市民参画機会の充実、情報公開・発信)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
35 男女共同参画社会の形成 (女性の参画促進、能力発揮、人権尊重)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
36 広域的な連携の推進 (近隣自治体との連携・協力、広域行政)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
37 財政基盤の強化 (自主財源の確保、財政構造の健全化)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
38 効率的な行政経営の推進 (窓口サービス向上、行政運営の効率化)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

問7 平成18年3月の3市町村合併後のまちづくりについて うかがいます。以下の項目について、あなたの考え方に 近いものを選んでください。 (それぞれ1つに○)	思う	少し思う	どちらとも いえない	ない	あまり 思わ	思わない
① 合併から10年を経て、新市としての一体感が形成された	1	2	3	4	5	
② 財政規模が拡大し、財政基盤が強化された	1	2	3	4	5	
③ 新市や各地域のイメージや知名度が高まった	1	2	3	4	5	
④ 地域の活力が向上し、都市・産業基盤が整備・充実された	1	2	3	4	5	
⑤ 国からの財政支援により、地域振興が図られた	1	2	3	4	5	
⑥ 産業（農業や工業）の一体的振興が図られた	1	2	3	4	5	
⑦ 地域資源が広域的に活用され、観光や他都市との交流が活 発化した	1	2	3	4	5	
⑧ 保健・医療・福祉など身近な行政サービスが充実した	1	2	3	4	5	
⑨ 図書館や体育館等の公共施設が利用しやすくなった	1	2	3	4	5	
⑩ 役所の窓口が増えて、暮らしが便利になった	1	2	3	4	5	
⑪ 旧市町村間での交流が活発化した	1	2	3	4	5	
⑫ 議員や職員数の減少により、行政コストが削減された	1	2	3	4	5	

問8 雪対策についてうかがいます。

(1) あなたのご自宅では、主にどなたが除雪作業を担っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分	2. 夫(妻)	3. 同居の家族	4. 別居の親族	5. 近所の人
6. 民間事業者	7. 除雪の必要がない	8. その他()		

(2) 岩見沢市では、平成24年の豪雪の教訓から、「迅速・的確な除排雪対応」「情報提供の充実」「高齢者等の除雪弱者への支援」といった『総合的な雪対策』に取り組んでいます。

あなたは、岩見沢市の『総合的な雪対策』をどのように評価しますか。(○は1つ)

1. 評価する	2. ある程度評価する	3. どちらともいえない
4. あまり評価しない	5. 評価しない	

岩見沢市総合計画策定のための市民意識調査結果報告書

平成 29 年 6 月

岩見沢市企画財政部企画室

〒068-8686

北海道岩見沢市鳩が丘 1 丁目 1 番 1 号

電話 0126-23-4111 (代表)

FAX 0126-23-9977 (代表)

